



#### 【指標の説明】

脳梗塞患者さんに対し早期にリハビリテーションを開始することで、機能予後の向上、再発リスク抑制が期待できます。

わが国の脳卒中治療ガイドライン 2015 では、「不動・廃用症候群を予防し、早期の日常生活動作(ADL)向上と社会復帰を図るために、十分なリスク管理のもと可能な限り発症後早期から積極的なリハビリテーションを行うことが強く勧められている(グレード A)」と書かれています。したがって、適応のある患者さんには早期からリハビリテーションを開始することが望まれます。

当院では80%以上の高い割合で早期にリハビリテーション治療を実施しております。

#### 【計算方法】

分子…分母のうち、入院後早期(4日以内)に脳血管リハビリテーション治療を受けた患者数  
 分母…18歳以上の、主に脳梗塞に対して治療を施行した患者数